

石橋議員（自民議連）

平成 29 年 2 月 24 日

教育長 答 弁 実 録

（ 教 育 委 員 会 ）

（問）「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プランの保護者への情報提供について

乳幼児教育において家庭が重要であることは論を俟たないが、いざ行政が家庭にかかわるとなるとその距離感をどのように保つかが難しいと想像される。

現実問題として、実際に保護者に対し学習の機会や情報の提供などの支援を行っていく際に保護者からコンタクトを断られるなどの対応困難なケースもあると思うが、そのような場合はどのように対処するのか、教育長に伺う。

（答）

乳幼児期における教育・保育は、生涯にわたる人格形成及び小学校以降の教育の基盤を培う重要なものであり、乳幼児期における教育・保育全体の質の向上を図っていくためには、家庭、地域、幼稚園・保育所等がそれぞれの役割を果たしながら取組を進めることが重要であると認識いたしております。

中でも、家庭における教育は、心身と人間関係の基盤を形成する大きな役割を担っており、子育てに悩んでいる保護者や関心の低い保護者などに対して、信頼できる情報や学習機会の提供などの支援が必要であると考えております。

こうしたことから、「『遊び 学び 育つひろしまっ子！』推進プラン」では、全ての保護者に対して、家庭での取組内容を分かりやすく伝える資料を作成し、幼稚園・保育所等や乳幼児健診会場などあらゆる場所で、情報発信や学習機会の提供に取り組むこととしております。

また、様々な理由で対応が困難な保護者に対しては、身近な住民が関わることが有効な場合もあることから、行政からの支援に加え、地域のボランティアが、必要な情報を家庭に直接届ける仕組みづくりについても取り組むこととしております。

教育委員会といたしましては、これらの取組を通して、全ての保護者への情報や学習機会の提供を充実させ、保護者が自信と安心感を持って子育てをすることができるよう、家庭教育への支援に努めてまいります。